# １２年前日記

１９９９年１２月２２日
（水）

山田夫妻

# 『１２年前日記　１９９９年１２月２２日（水）』

【１９９９年１２月２２日（水）】＊２０１１年１２月２２日（木）記
＊１９９９年１２月１５日（水）～１２月２１日（火）の１週間続けた「●時間割」と「●家計簿」は今回からやめました。「冷やし中華はじめました」だって、いつか終わるわけだし、てか、はっきり言って微調整が面倒臭いんだよ、ううん、コッチの話。

●日記
　８時起床。起き抜けから、思いっクソ、体調が悪い、そんな体調を崩して４日目だか５日目の同じような朝。
　そういやタイについて、今日で早一週間。滞在３日目、厳密には滞在４８時間で見事に調子を崩す。そんな病弱な自分で今日でさよならしてやるぜ。
　１２時、マル秘ホテルをチェックアウトし、俺はある悲壮な決意を胸に秘めて、バンコクのフォアランポーン駅の観光案内所へメータータクシー（７０Ｂ）で向かった。今度こそ正規の観光案内所の職員を見つけてやる。
　実は前回、先週土曜に駅に来たときはモグリ職員に当たったみたいで、駅の近くにある旅行会社みたいのに連れて行かれたのだが、ああいう輩はもぐりでアレみたい。
　まあ、俺だからこそ、そういう断崖絶壁の綱渡りの危ない橋での真剣勝負も、ギリギリ引き分けに持ち込めたのだろう。今度見掛けたら、アイツ絶対許さない。
　で、アイツに復讐するためだけにわざわざ来たわけではない。
　正直、このままバンコクにいていいものか迷うところ。この体調がいつまでも続けば、ジリ貧のまま、医療費で破産しちゃうかもしらない。世に言う、イソジン破産。
　そもそも自称プロ戦場特派員を気取って、登山家の高山慣れ感覚でバンコク慣れとか余計なことしてるのがよくなかったんじゃないかい。もうホント、バカなんじゃないの！　責めちゃダメ、自分を。分かったよ、分かった。お前は間違ってない、そのままでいい。ま、ペース配分をちょっと間違えただけ。
　とにかく、何にしろある意味ドクターストップですよ、まあ、お医者さんごっこの医者ですが、医者は医者じゃないか、医者に貴賤なし！
　医者曰く、今ならまだこの体調でも無理がきく。体が動くうちに早いところバンコクを捨てて、どこか涼しい空気のいいところに避暑がてら静養に行ったほうがいいのではないか。高原の軽井沢で静地療養。まずは体調をよくしてから、事にあたればいい。急がば回れ作戦。
　一世一代の決断を迫られた。行くべきか行かざるべきか。のるかそるかの人生一大の大博打。
　世の中には誰もがやりたくないことを、誰かが進んで命を賭けてやらなくちゃいけないことがある。好きだ嫌いだじゃない、やりたいとかやりたくないじゃない。アレはヤリたいけど。
　そのために各分野には１００年に一度の逸材がご用意されております。小学校の高学年にもなると、そういう各分野（ペーパーテスト界、野球界、サッカー界、戦場特派員界、大量殺人鬼界、大泥棒界、レイプ界などなど細分化されており、更に言えば、野球ならピッチャーで１００年

に一人の逸材、４番バッターで１００年に一人の逸材、バントで１００年に一人の逸材と細分化されております。ちなみにドラフト１位なんて、１年間に１２球団で１２人いるから、１ヶ月に一人の逸材レベルです）の１００年に一度の逸材が、体育館に集められて、そういういやらしい話を受けるわけ。あ、本当は書いちゃいけないんだっけ、コレ。
　とにかく、自称プロ戦場特派員部門の１００年に一度の逸材として生まれしものの定め、宿命、使命。逆にそのときまで命を大事にしなければいけない。
　あら～、まあ、そうなの大変ねえ、初耳よ。まあ、そういうことなら、昨日、一発目の電話取材も無事終えたし、最初からいきなり飛ばして、体調悪いのにあまり根を詰めすぎると過労死しちゃうから。
　こんなもん別に締切があるわけじゃなし、誰かに頼まれたわけでなし、誰かに金貰ってやってるわけでもない、一生やるマラソンみたいなもんなんだから、最初だからって張り切って１００メートル走みたいに全力疾走してもね。
　いや～、俺ってば、大義名分マシーンの名に恥じぬ、大義名分が次から次へスラスラでてくるねえ。
　じゃあ、それにそれにね、明後日はクリスマスイブなんだよ。早めのサンタさんからの粋なプレゼントでどうよ？
　そう言えば、従軍取材やカレン族の難民キャンプの取材の拠点にするメソトもチェンマイと同じ北部。あ、まだ言ってなかったけ、これからチェンマイ、行くんすよ。
　日本で言えば、チェンマイが青森で、メソトが福島みたいな同じ東北っぽいわけよ。
　これからもっともっと頑張る自分へのご褒美、先行投資。ある意味、遊び心満載のファンサービス。採算は度外視。
　そろそろ冬のボーナスの時期だし、がんばった社員に現物支給の倒産在庫一掃セールや福利厚生名目で冬の社員旅行をサプライズプレゼント！　社員はみんな、かわいい我が子みたいなもんだ、社員一人、社長一人で、社員兼社長なんだけどね。よく分からなくなっちゃったや。
　鳴り物入りで現地に乗り込んだが、急病によりいきなり戦線離脱を余儀なくされるが、思わず顔がほころぶ戦線離脱。長期離脱を避けるためには致し方ない。
　そんな言い訳三昧に背を押されて、背水の陣をひくことに。そのとき、歴史は動いた。
　タイの北部にある、タイの軽井沢と呼ばれる、チェンマイに行くことになった経緯説明は以上です。ありがとう、サンタさん、シャチョさん！
　たまには自称プロ戦場特派員から、普通の男の子に戻りたい。
　そんな一日、誰にだってあるさね。まあ、一日だけじゃなくて、４泊５日なんですけどね、チェンマイ。せっかく行くんだから日帰りじゃもったいないじゃん、奮発して飛行機で行くんだし。
　もうわんぱくさんなんだから、いつまで経ってもあの日の少年のままなんだから。
　いやいや、だって高原で避暑というか、高原でマジメに静養と言えば最低４泊５日からっしょ。
　ココで我が社のワンマン社長から一言。

　このまま業績悪化の一途をたどっては、自転車操業の零細企業はひとたまりもない、ココで一発、でっかいテコ入れしないといかん。あ、そう、ご苦労さんじゃない！
　俺はなあ、我が社はなあ、攻めの一手、攻めて攻めての攻め達磨火達磨、いったらんかい、豪華社員旅行じゃ！
　金だ地位だ名声だがあってがんばってますは当たり前、ちゃんちゃらおかしいわ。な～んにもないのに精一杯がんばっちゃう、そんな生き様をみろ。ちなみに、まず安定や保証ありきで群れてシコシコやってる連中は論外ね。
　後はまあ、ノリってあるじゃないですか、その場のノリ。観光案内所の誰かさんと日本語と英語とタイ語のちゃんぽんで話していたら、こういうことちゅうか、チェンマイ長期観光ってノリノリのノリに流れ流されて、ね。
　まあ、若さってこういうことじゃん。
　それに病人で体が弱っていたんだから、まともな判断ができなくても仕方ない。誰が責めれるか。みんな仲良くしようよ。一番悪いのは、皆さんご存知の俺のいざと言う時のために持ってきたヘソクリがあったこと。お、俺か～、この下手人め～！
　そして、いつも「いざ」が終盤にくるとは限らないと言いながら、さっそく序盤でヘソクリを大判振る舞いしちゃった。
　でもね、いいんだよ、へそくりを使うべきと思ったら使えばいい。そんなもん後生大事に最後までとっておくべきものではない。
　死ぬまでへそくりを抱えて、手をつける前に自滅、素人さんがよく陥りガチな罠。
　ただいま、水面下では攻防、口裏会わせ、権謀術を巡り巡らせている真っ最中。
　なので、こんなヘソクリさえなければ、四泊五日なんて大掛かりな逃避旅行にいきなり行かなくてすんだんだよ。くやしいです。ヘソクリさえなければ、バンコクから日帰りでちょっとそこまで傷心小旅行で済ませられたのに。
　例えば水上マーケットとか。ああ、この前、水上マーケットに寝坊っていうか、二度寝で行けなかったのも結構大きな要因だと思う。あんときも体がアレだったんだから結果としてオサボリになったのはすっごく仕方ないけど、なぜだかリベンジ感覚があったのは否定できない。水上マーケットの敵を、チェンマイで討つみたいな。
　いや～、しかし、ヘソクリの罪はまだまだ終わらない。ホント罪深い。
　ココだけの話、さっきもチラッと言った気もするが、行きなんて飛行機にしちゃいましたからね、エアプレイン。そう、鉄なのに空跳んじゃう、アレっすわ、ぶ～んって一ッ飛びね。
　で、生意気に金取るんでやんの。１６００Ｂだから、日本円にしたらたかが６４００円ですけどね。新幹線乗ったら、東京から静岡くらいまでしか行けないケチなお値段。
　でも、ココはタイ！　ヨッ、大統領！　太っ腹！　シャチョさん！
　飛行時間７０分の優雅な空の旅へようこそ。本日１８時１５分、テイクオフ！　善は急げ！翌朝とかにすると寝坊しちゃうから。こういう意外と堅実なところにキュンとするかい。
　俺にも良心ってもんがある。悩むし後悔もする。
　もうねえ、魔が差したとしか言えない。先手必勝で避暑静養、素人はウダウダしてドツボには

まる、プロならではの即決即断。
　せっかく魔が差しついでにチェンマイでの日帰りトレッキングツアーも申し込みましたけど何か？
　薄汚れた企業戦士の心のお洗濯がお値段１０００Ｂぽっきりで、イカダ下り、カレン族の村訪問、エレファントライドまでついてくるなら、すっごいお得でしょ。
　きっと薄汚れた心がキレイに洗われるんだろうなあ。
　ジャパニーズマネーのおかげで、念願のカレン族の村も訪問できるし（あくまでタイのカレン族だけど。でもミャンマーのカレン族とだいたい一緒）、近い将来ゆくゆくはジャングルで従軍取材するかもしれないんだから、ジャングル慣れもしといたほうがいいじゃない？　知ってる？
　やっぱ新調したトレッキングシューズを履き慣らす必要もあるしね。問題はジャングル中ずっと象に乗るみたいだけど。大事なのは、そういう前向きな気持ちだから。最悪、本番も象を見繕って乗ればいいし。
　おおまかに本番のカレン民族同盟解放軍の従軍取材やカレン族の難民キャンプの予行演習、模擬取材みたいなもんです。
　静地療養とか言いつつ、仕事が片時も頭を離れないナチュラルボーン仕事人間ですんません。
　でもねえ、イカダ下り、コレだけは完全に観光です。はっきり言って、イカダなんかで下ってる場合じゃないでしょ、仕事もせずに。
　チェンマイに何で行くの？　だから飛行機で。　いやいや、違う違う、そうじゃなくて、何しに行くの？　もうエッチなんだから。
　さすがにそういうところは分別のある大人、静養して全快しているはずの帰り道はバンコクまで夜行バスを予約、３５０Ｂとお値段は飛行機の５分の１、異動時間は５倍以上の陸の長旅を想像するだけで…やっぱチェンマイなんか行きたくない、いっそのこと、このままずっとバンコクに。
　そんな行きはよいよい帰りはつらい精神でちょっと節約したが、ヘソクリ１万円（上記３つ、飛行機代、ツアー代、バス代を足した値段）がほとんどふっとぶとしか言えねえ。（そして、ようやく今回登場した１２年後の俺は思う、グダグダ書いてあるから、もういいや、そのままでって、どうせ俺じゃなくて、１２年前の俺が書いたんだし、関係ねえもん）。
　素人さんはなぜバンコクに戻ってくるかとお思いでしょうが、バンコクでやらなければいけないことがまだまだあるのだ。なのにこれから四泊五日でチェンマイ行くけどね。
　逆にバンコクでまだまだやることがあるから、チェンマイで体を完全に治してくるのだ。
　今ならまだそれくらいのタイムロスは挽回できるはず。
　後、チェンマイの２２日～２５日のホテルを予約しといたよ。あくまで予約のみ、お代はホテルに日々払う形。
　開き直るわけじゃないが、開き直る器用な一面を見せると、一遍にいろいろ申し込んだほうが時間の節約にもなるし、労力も減るから。
　ああ、もういろいろゴチャゴチャ詰め込みすぎ！　じゃあ、なにかい、一番いいのだけ選んで、もったいぶって最後に一個だけ披露して、オシャレにスマートぶるってか。はいはい、かっこ

いいかっこいい、お上手お上手。エセ野郎の精一杯にしては上出来上出来。
　本物のオシャレさん、あえてやるのが粋なんて恥かしいこと言わせないで、そういうんでもないから。いろいろ複雑なの、乙女は。知ってる人は知っている、乙女じゃねえけどな。
　とりあえずもう決まっちゃったもんや書いちゃったもんはゴチャゴチャ言っても仕方ない。
　空港まで駅から電車で行くことにする。１６時１０分の電車に乗るから覚えとけ。確か１２時頃、駅に着いて、諸々予約した程度なのに、タイムロス３時間くらい。
　でもそれまで腹が減っては戦はできんとタイ飯（３７Ｂ）。バンコクのタイ飯ともしばしのお別れかあ。
　ちょっと感傷的になって、駅のトイレにウンコしに行ったら、２Ｂもとりやがった！（押忍、俺俺。２０１１年の俺だよ。男便所と女便所の入り口の真ん中に銭湯の番台みたいのがあって、おばさんが金取ってたかすかな記憶が。思いっきり違うかも。単に金を入れる箱か何かがあって、好きな金額入れればいいだけだったかも。ま、こんな瑣末なこと、どうでもいいやね。１２年前のこの人以外は↓）。
　いや～、久々にもう腹の底からフツフツと怒りがこみ上げてきたね。ウンコに金払うくらいならって、駅前のコンビニで１１２Ｂもの豪遊。ヨッシャ～、トイレ５６回も行けるぜ。俺の勝ち！
　その後、近くの喫茶店でコーシー（トイレ１１回分、２２Ｂ）。２連勝！
　飲みすぎたのか、すっごいトイレに行きたくなるが、節約のため我慢する。２Ｂ丸儲け。
　関係ないけど、トイレを我慢しているとなんか一仕事してる気にならない？　あ、ならない？
　じゃあ、バカな子だよ、お前は！　あ、図星だぁ～。ナニ、ムッとしてんだ、このドブスｏｒドブ男風情がっ！　イヤなら、今すぐとっと出てけ！　そして二度と来んな、カス！　塩だ、塩もってこい～。ああ、ホラ、もうこんなに潮噴いちゃったねえ～。
　さて、そろそろ電車が来たかな、馬鹿で暇つぶししている間に。
　１６時１０分、ファランポーン駅から電車（５Ｂ、この金があればトイレ２．５回も行ける）でドンムアン空港へ。
　１７時１０分。電車がクソチンタラ走ってようやく到着。コッチの良心的なボッタクリじゃない駅で無料の放尿をしながら、２Ｂ浮いたと喜ぶ。
　駅から国内線ターミナルまで結構歩く。ようやく空港に着くなり、公衆電話からメソトのＵＮＨＣＲに電話。やだ、これじゃあ、まるで休暇中も仕事を忘れられないビジネスマンみたい。ビジネスマン直伝の公衆電話の掛け方はどっかに書く、覚えてたら。
　１８時１５分、ドンムアン空港離陸。機上の人となりて、丸窓より下界を眺める。天上人になった心持ち。しばらくおとなしく主の帰りを待ちたまえ、バンコクよ。きっと元気になって、帰ってくるからな。
　１９時３０分、もうチェンマイ空港着。感想？　寒い！　寒すぎる！　誰だ、避暑なんて甘いこと抜かしやがったの、殺す気か。
　常夏の南国から半袖一丁でやって来て、一気に極寒の地に放り込まれた気分だ、いや、気分じゃなくて事実だ。しかもこんなに寒いなんて思ってなく何の覚悟もないから余計に寒さもひとし

お身に染みる。
　しかも相変わらず体調は最悪継続中。空港内も深々と冷え込む。もうねえ、避暑どころの騒ぎじゃない。お医者さんゴッコしかしたことない素人ヤブ医者診断だが間違いなくココにいたら風邪とかが悪化しますね、ハイ、次の方～。
　でも極楽トンボじゃあるまい、バンコクにトンボ帰りなんてできるか。ああ、余計サムッ。
　もう少しの辛抱たまらんで、予約したホテルからお迎えの車が来る手筈になってるからお許しを。
　あらあら、南国のはずのタイでみんな厚手のジャンパー着たり、セーター着込んでるよ。俺だけ季節感のないバカな小学生男子みたいになってる。
　「ＭＲ．●●●●」と俺の立派な戦場ネームではなく、俺の秘密の本名を書いた紙を掲げた、あったかそうな格好をしたおっさんを発見！
　２１時、年季の入ったおっさんの運転する年季の入った車で暗闇の中を進む、『ＰＬＡＺＡ ＨＯＴＥＬ』という年季の入ったホテルにチェックイン。
　２１時３０分。すぐに温かいものを食べようと外に出て、目に付いた食堂で辛いトムヤムクンスープにテーブルの上においてある辛そうな香辛料を更にぶちまける。ドス赤いのをおかわりして飲み干し、お腹タポタポに（４５Ｂ）。
　２２時。すぐにホテルに戻り、風呂に浴槽がついているが、湯をひねるも出るのは生ぬるい湯もどきばかり。こんなもんを溜めて、肩まで浸かったら、そのまま殉職できそうじゃん、頭にタオル乗せたまま「極楽極楽」って地獄に落ちるね。風呂入るのや～めた。
　とっととホテルを替わりたいが、チェックインするときにあまりの寒さに朦朧とし、既に４連泊分、一泊１５０Ｂ×４泊で計６００Ｂを支払い済み。それに、２４日だかのツアーはこのホテルに迎えに来ることになってるし。
　時既に遅し。じゃあ、寝るか。
　２４時３０分、進退、ココに窮まる。なので毛布に包まって、とっとと寝る。

〇本日の出費、計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよＢ。

# 『１２年前日記　１９９９年１２月２２日（水）』

http://p.booklog.jp/book/41256

著者：山田夫妻
著者プロフィール：http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile

感想はこちらのコメントへ
http://p.booklog.jp/book/41256

ブクログのパブー本棚へ入れる
http://booklog.jp/puboo/book/41256

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.